

平成27年度 佐渡市教育課程部会 活動報告

部長 本間 智英

1 研究主題

講演等とおして、教育課程の編成と実施について研修し、教務主任の職務の自覚と力量を高める。

2 研究の概要

市内小学校 24 校で組織されており、学校規模別の情報交換、講演会により自校の教育活動の改善と自身の力量向上をねらいとしている。

3 研究の実際

(1) 研修内容

① 情報交換 (75 分)

- ア 情報提供者 本間 英一 先生 (両津小学校)
イ 内 容 「教務主任の職務について」
ウ 情報交換 学校規模に応じて3グループ編成



情報交換の様子

② 講 演 (60 分)

- ア 講 師 佐渡市立沢根小学校 教頭 佐久間 義久 様
イ 演 題 「教務主任として大切にしてきたこと」

4 成果と課題

(1) 成 果

情報交換では、情報提供者の本間先生から法令・法規における「教務主任の職務」や、実施している連絡調整、指導・助言について紹介があった。

また、昨年度から佐渡市で導入されたグループウェア「Web21」の効果的な活用方法についても提案があり、情報交換の中でも話題になった。今年度も、学校規模別で互いの実践や悩みを共有する有意義な情報交換となった。

佐久間教頭先生のご講演は、「目指す教務主任の姿、モデルとなる教務主任とは」の問い掛けから始まった。ご自身は、次のような教務主任を目指していたと話された。

- ・全校のことで知らないことはないという教務主任
- ・頼りにされる教務主任

このような教務主任となるために、「見える化」「起案システム」「多忙化解消」についてご指導をいただいた。特に、「見える化」については、各学級の様子や各職員の困り感、校長のリーダーシップに対するフォロワーシップなど、教務主任としての立ち位置、心構えを学ぶ上で大変参考になった。

また、多忙化解消の視点を持ち、教務主任からボトムアップできるようになってほしい、というご指導をいただいた。ご自身の経験を基に、ポイントを絞ったご講演で大変分かりやすく参考になった。



佐久間教頭先生の講話

(2) 課 題

学級担任を兼務している教務主任が半数ほどいる。その先生方の仕事術や悩みなどを学んだり共有したりして、力量を高める研修を今後も行いたい。